



法政大学社会連携教育センター 正課外プログラム

北海道 更別村フィールドワーク2026

【概要】 ※詳細は募集要項を必ず参照

■ 対 象

法政大学 全学部・全研究科の全学年 3～4名 ※特別学生及び通信教育課程除く

■ 日 程

募集期間 : 2026年5月25日 (月) ～ 6月3日 (水) 17時

オンライン面談 : 2026年6月9日 (火) ※書類選考通過者のみ

事前勉強会① : 2026年7月16日 (木) 19時～21時 @市ヶ谷キャンパス

事前勉強会② : 2026年8月17日 (月) ～22日 (金) のうち1日@オンライン
※日程調整中

フィールドワーク : 2026年8月30日 (日) ～ 9月5日 (土)

「更別村から、“地域のありかた”を考える。」

このプログラムでは、地域の人々の暮らし方や考え方にふれながら、学生自身が「これからの地域のありかた」を考えていきます。フィールドワーク最終日には、フィールドワーク活動報告会として、学生たちが考案したアイデアを発表し、地域の方々とともに意見交換を行う対話型ワークショップも開催します。

本プログラムは、中央コンピューターサービス株式会社が運営する地域づくり特化型PBL「ミチシロカ」に、法政大学 社会連携教育センターの正課外プログラムとして参加します。

申込は
こちら



<https://forms.gle/zGnLCVkuNa8zfrSE6>

【問い合わせ】 法政大学 総長室付教学企画室 Email : kyogaku@hosei.ac.jp

北海道 更別村フィールドワーク

ミチシロカ in 北海道更別村

北海道・更別村で、“地域のありかた”を地域とともに考える 7 日間

募集要項

■プログラム概要

舞台は、北海道・十勝の更別村（さらべつむら）。

人口約 3,000 人。

小さな村ながらも、農業を中心に安定した経済を築き、地域全体で豊かな暮らしを続けています。

このプログラムでは、地域の人々の暮らし方や考え方にふれながら、学生自身が「これからの地域のありかた」を考えていきます。

中央コンピューターサービス株式会社が運営する地域づくり特化型 PBL「ミチシロカ」に、法政大学 社会連携教育センターの正課外プログラムとして参加します。

※このプログラムに対する単位の付与はありません。

■テーマ

「更別村から、“地域のありかた”を考える。」

北海道・十勝の更別村。人口およそ 3,000 人の小さな村は、農業を軸にした豊かな経済と暮らしを続けています。そこには、自然の厳しさと向き合いながら、地域の人々が築いてきた知恵と仕組み、そして支え合いの文化があります。

このプログラムでは、そんな更別村の人々の“暮らしの現場”を訪ね、地域を動かしている仕組みや考え方にふれながら、「地域が続くとはどういうことか」を自分の目で見て、考えていきます。

「ミチシロカ」のフィールドワークでは、あらかじめ決められたスケジュールや答えはありません。

学生自身が問いを立て、現地での出会いや体験を通して学びを深めていくのが特徴です。

地域の人との対話を重ねるうちに、当初の“課題”が“気づき”へと変わり、地域の見方だけでなく、自分自身の価値観も少しずつ変化していきます。

地域の方とのつながりのなかで見つけるのは、地域のたくましさであり、人のやさしさであり、社会の多様な形です。

夏の北海道での 7 日間を通して、あなた自身の“地域のありかた”を見つけてみませんか。

■募集概要

募集対象	法政大学 全学部・全研究科の全学年 ※特別学生及び通信教育課程を除く
募集定員	3～4 名程度 ※他大学より 8 名程度が参加し、全 12 名程度で実施します。
募集期間	2026 年 5 月 28 日（木）～ 6 月 3 日（水）17：00

■実施概要

滞在期間	2026 年 8 月 30 日（日）～ 9 月 5 日（土）
フィールド	北海道十勝・更別村
主催	中央コンピューターサービス株式会社
協力	更別村・SKB 合同会社
選考方法	書類選考+オンライン面談
参加費用	20,000 円（宿泊費として）
宿泊先	さらべつカントリーパーク・コテージ (施設 HP)

【参加費用について】

- 参加費用 20,000 円は、宿泊費として、現地で宿泊施設にお支払いいただきます。
- 航空券の手配自体はご自身で行っていただきます。詳細は参加決定者にご案内します。
- 保険は学生教育研究災害傷害保険が適用されます。
- 事前勉強会参加に係る交通費・フィールドワーク中の食費等は自己負担です。
- その他、詳細は参加決定者にお知らせします。

【宿泊について】

- 複数人で相部屋（男女別）での宿泊になります。
- 状況により、宿泊先は変更となる場合があります。

■プログラムイメージ

「ミチシロカ」のフィールドワークでは、**地域づくり特化型 PBL（Project-based Learning）**の手法を用い、地域に根ざしたテーマ（お題）が提示されます。

参加学生はそのお題に向けて、チームごとに議論し、現地での対話・観察・体験を通して主体的に学びを深めていきます。

このプログラムの特徴は、運営側が細かいスケジュールを決めないこと。

学生自身が計画を立て、試行錯誤しながら地域に向き合います。

その自由度の高さが、地域に新しい視点をもたらし、参加学生にも大きな成長のきっかけを生み出しています。

■農作業・活動報告会・地域のみなさんとの対話型ワークショップ

フィールドワーク期間中には、村内の農家さんご協力のもと、農作業も行う予定（半日程度）です。

フィールドワーク最終日には、フィールドワーク活動報告会として、学生たちが考案したアイデアを発表します。

さらに「発表」で終わらず、地域の方々とともに意見交換を行う**対話型ワークショップ**も開催。

学生が提示した視点をきっかけに、地域と次の一步を考える場とします。

■求める学生像

- 地域の仕組みや暮らしに関心がある方
- 現場での学びや探求が好きな方
- チームで協働し、自ら考え行動できる方
- ガクチカではなく、本当の～～～をしたい方

■スケジュール

募集期間	2026年5月28日(木)～6月3日(水) 17:00
書類選考結果通知	2026年6月5日(金) ※メールで通知
オンライン面談	2026年6月9日(火) ※オンラインで実施 ※1人最大30分程度を予定。希望日時は参加申込フォームで確認。
選考結果通知	2026年6月18日(木) ※メールで通知
事前勉強会①	2026年7月16日(木) 19:00～21:00 ※法政大学市ヶ谷キャンパスで実施
事前勉強会②	2026年8月17日(月)～22日(金)のうち1日(詳細な日程は調整中) ※オンラインで実施
フィールドワーク	2026年8月30日(日)～9月5日(土)

※すべての日程に参加必須です。

※フィールドワークの詳細なスケジュールは参加決定者にお知らせします。

■選考について

① 以下の Google フォームにアクセスし、各項目に回答の上、応募してください。

<https://forms.gle/zGnLCVkuNa8zfrSE6>

※法政大学 Gmail アカウントでアクセスしてください。

② 上記のフォームの回答内容に基づいた書類選考およびオンライン面談による選考を行います。

③ 選考終了後、参加可否を総長室付教学企画室 (kyogaku@hosei.ac.jp) からメールで通知します。

6月18日中に届かなかった場合には、問い合わせ先までご連絡ください。

※選考結果に関するお問い合わせには回答できませんので、ご承知おきください。

■注意事項

- 集合・解散はとち帯広空港を予定しています。自宅からとち帯広空港までの往復は、参加者自身で手配していただきます。
- 現地では、他の参加者とチームでの共同生活となります。
- 気象条件などにより、スケジュールを変更する場合があります。
また、万が一やむを得ない事由により、プログラムの中止が決定された場合、その際に発生するキャンセル料等は参加者の自己負担となります。
- プログラムは関係各所の多大な協力により実施しています。
すべての日程に参加することはもちろんのこと、各種提出物など、期限を守って対応するようにしてください。
- プログラム中の写真・映像は、中央コンピューターサービス・更別村・法政大学・プログラム協力先の広報活動に使用される場合がありますので、ご承知おきください。
- このプログラムは、主催・協力各社の採用活動には一切関係ありません。あくまで「地域を学び共創する場」として開催されるものです。

■参考：「ミチシロカ」とは

「ミチシロカ」は、北海道中標津町に本社を置く中央コンピューターサービス株式会社 (CCS) が企画・運営する、“人を育て、地域と共に成長する”をテーマにした地域づくり特化型 PBL (Project-based Learning) プログラムです。

学生が地域の課題や魅力に直接ふれ、主体的に考え・行動する7日間のフィールドワークを通じて、地域と共に新しい価値を見出すことを目的としています。

CCS は、創業以来 40 年以上にわたり北海道の自治体と共に歩み、人口減少や地域経済の縮小などの社会課題に先駆けて取り組んできました。

「ミチシロカ」は、そうした地域のリアルな現場と、多様な価値観をもつ学生の感性を交差させることで、新たな気づきと変化を生み出す“共創の場”として誕生しました。

2022 年のスタート以降、真狩村・音更町・中標津町などで開催を重ね、今回で第 8 回を迎えます。

プログラムでは、運営側が細かなスケジュールを設けず、学生自身が課題設定や行動計画を立て、地域の人々との対話を通して学びを深めるのが特徴です。

地域にとっては若者の新鮮な視点による魅力再発見の機会となり、学生にとっては自分の価値観を広げる実践的な学びの場となっています。

■問い合わせ先

法政大学総長室付教学企画室

Email : kyogaku@hosei.ac.jp

※件名を「更別村フィールドワークについて」とし、メール本文に「所属学部・学年・学生証番号・氏名」を明記してください。

電話 : 03-3264-9931

※月～金曜日 9 : 00～17 : 00 (11 : 30～12 : 30 除く)